
光赤外線天文学演習Ⅱ Optical/Infrared Astronomy Seminar Ⅱ

科目コード(Course Number) 20DASa11
物理科学研究科 School of Physical Sciences 天文科学専攻 Department of
Astronomical Science 光赤外線天文学 Infrared Astronomy
学年(Recommended Grade) 3年 4年 5年
2単位(credit) 通年 all year
渡部 潤一 (WATANABE Junichi)

【授業の概要 Outline】

太陽系・惑星科学についての基礎的な知識を教科書の輪講を通して習得すると同時に、関連分野の教員、PD、および大学院生等とともに学术论文の紹介や、自らの研究の紹介等を通じて、最新の研究の現状を知ることが目的としている。本演習は、光学赤外線天文学分野で毎週行われている論文報告会に参加し、所定の学修をした3年次、4年次、5年次院生に対して専攻専門科目（演習）として、その履修を認定するものである。

【到達目標 Aim】

最新の学术论文をサーベイし、自らがピックアップした論文を読み、自らの見解とともに紹介することで、参加者とともに科学的議論を行い、太陽系・惑星科学天文学分野における研究の動向を把握し、自らの研究の位置づけを明確に示すことができるようになることを到達目標とする。このような紹介を通じて最終的には自らの研究を広く分野が異なる研究者に理解してもらい、議論を行うことができる基礎を身につける。

【成績評価 Grading criteria】

論文報告会において、月に一度以上論文紹介を担当し、概説論文、教科書の輪講を二ヶ月に一度、担当する。論文報告会には8割以上出席し、科学的質疑に参加する。成績は、P合格もしくはF不合格で判定することとし、これらをもって、合格の基準とする。

【授業計画 Lecture plan】

太陽系小天体セミナーとして開催する論文報告会は、4月第1週～7月、10月～3月の期間、毎週一回の頻度で1時間～1時間30分開催する。〔実施場所 Location〕国立天文台（三鷹）南棟2階会議室を基本とする

【実施場所 Location】

〔実施場所 Location〕国立天文台（三鷹）南棟2階会議室を基本とする。

【使用言語 Language】

日本語を母語とする参加者のみの場合は日本語を基本とするが、参加者に日本語を解さない参加者がいる場合は英語とする。年に数回は英語での開催となる。

【教科書・参考図書 Textbooks and references】

参考図書：日本評論社 現代の天文学9「太陽系と惑星」

【関連URL Related URL】

URL:

〔上記URLの説明 Explanatory Note on above URL〕

【備考・キーワード Others/Keyword】